

海洋石油・ガス開発への取組み

= Made in Japanを目指して =

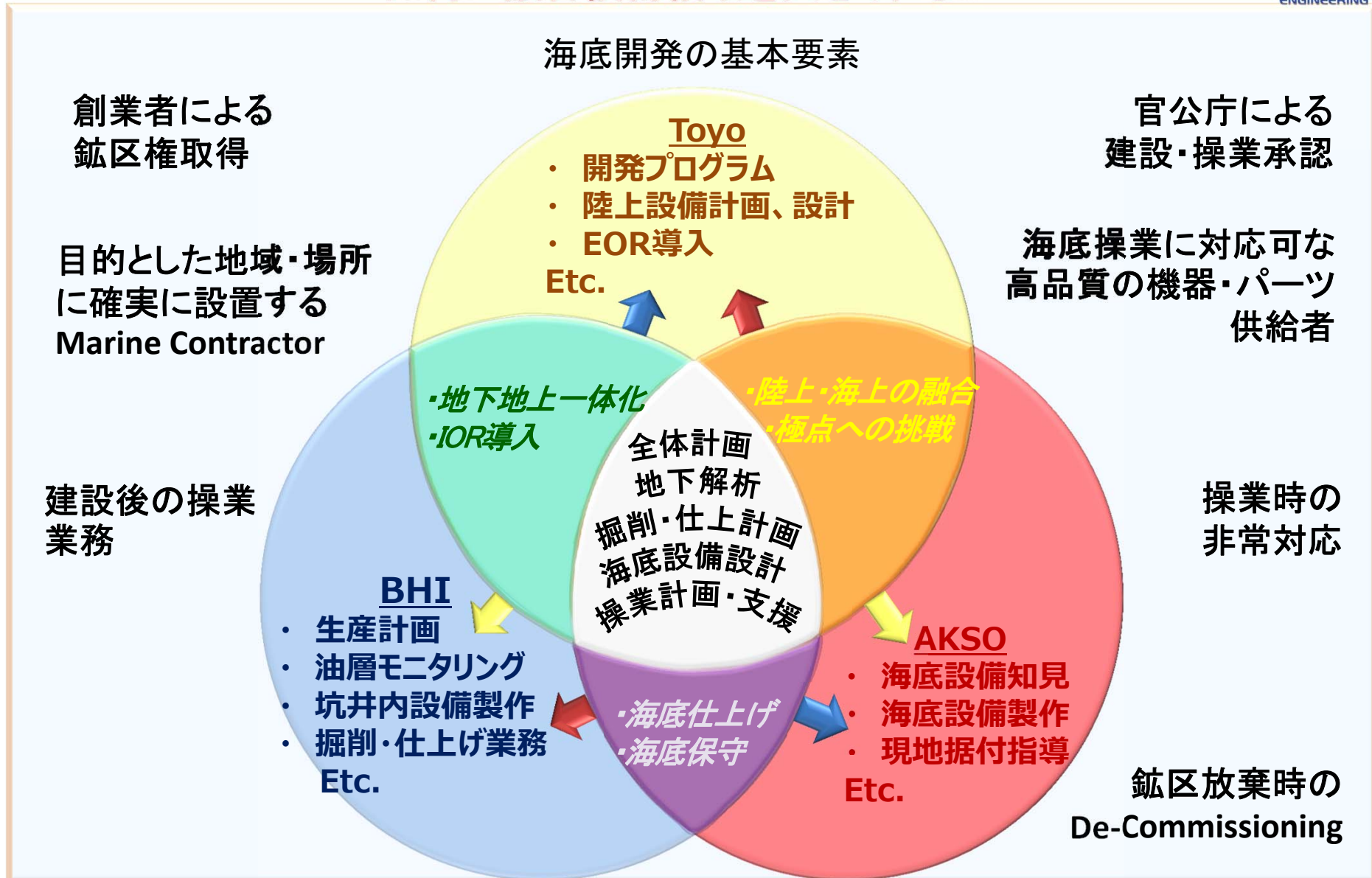
東洋エンジニアリング株式会社

資源エネルギー事業本部

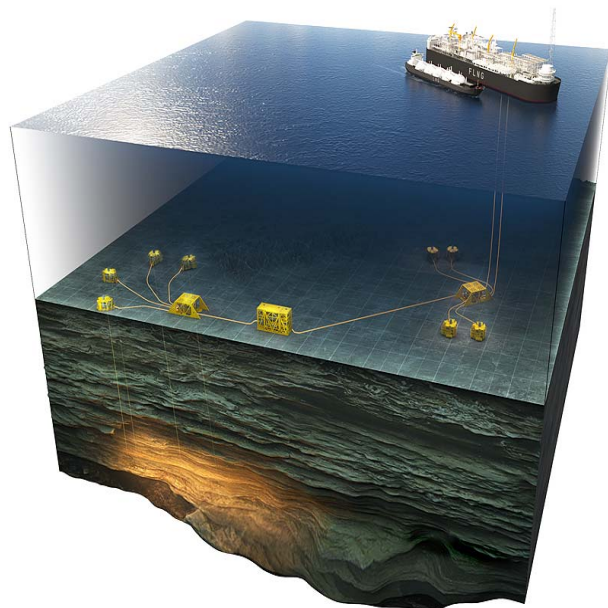
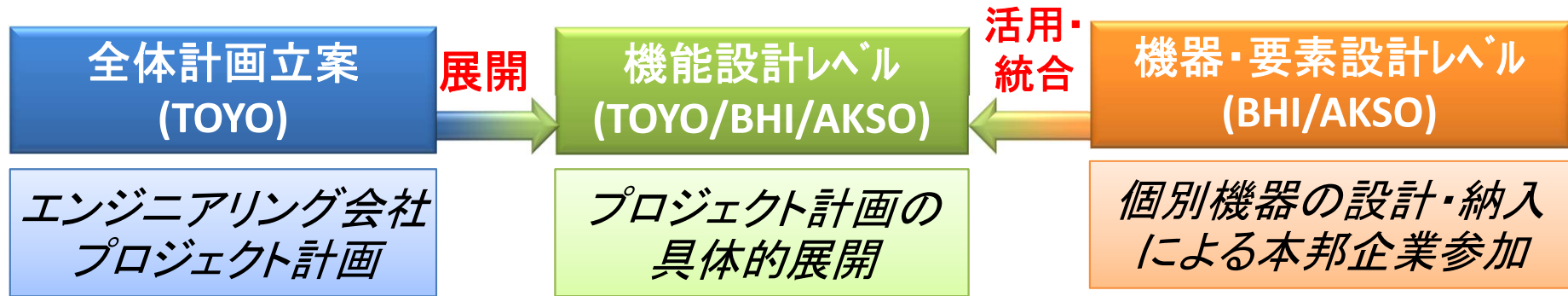
2016年2月25日

海洋開発分野での展開(各社の強点の融合)

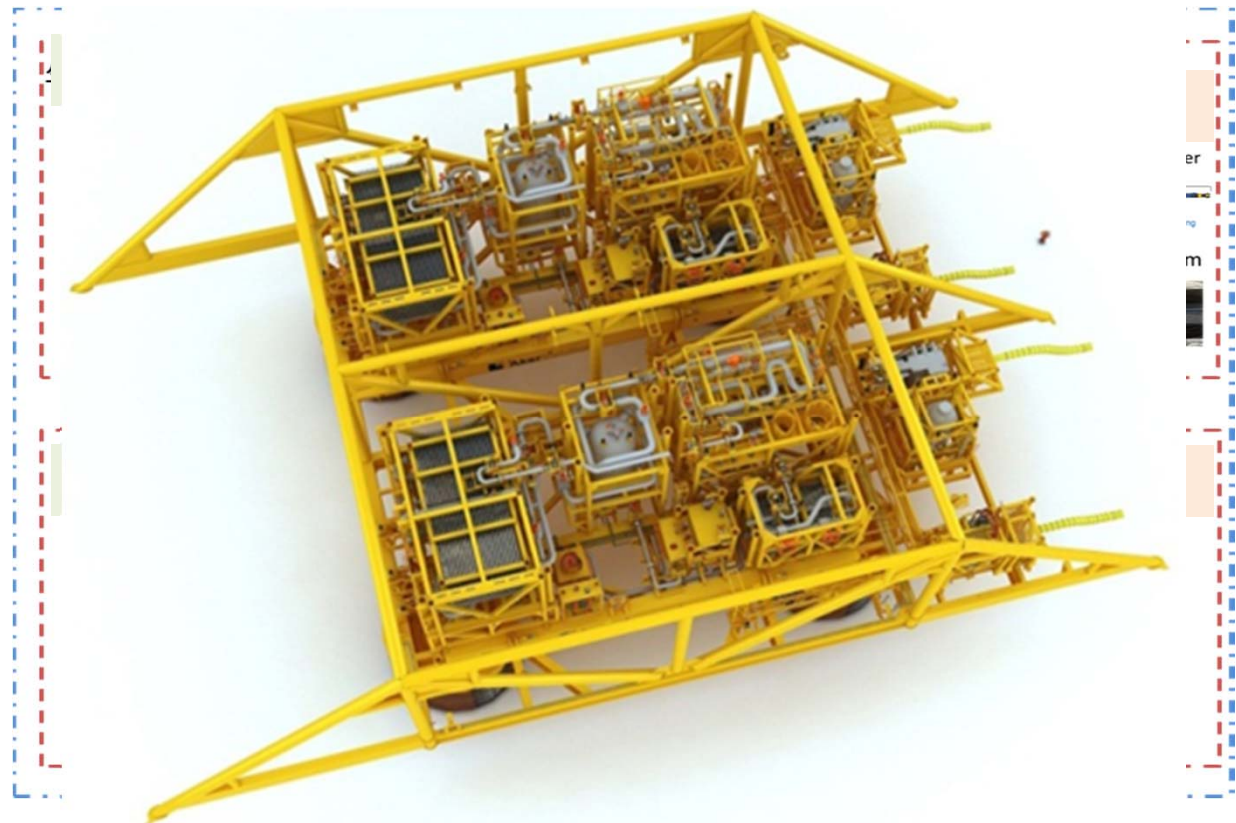
= 如何に融合技術領域を大きくするか =



海洋開発分野での展開(各社の強みの活用)-1



仮定処理設備+フローター
あるいは、陸上への輸送



海洋開発分野での展開(各社の強みの活用)-2



TOYO/BHI/AKSO/DJKの技術・ビジネス融合(各社の特性の融合)

プロジェクト全体計画・
設計・実行マネジメント

掘削&仕上げ

海底機器設備の設計・
製造・現地運転指導

補完関係(シナジー)成立

更なる付加価値を求めて

各社が抱える問題点解決手法討議

人財: BHI・AKSOが補完
経験: 同上

品質・納期: 日本製作提案(Toyo)
日本企業知見: Toyoが補完

Made in Japanを目指して

= Teamとして検討の具体的アクション =

As of now

Step-1 現状調査

1. 設備内で使用されている日本製品の確認と更なる適用可能性調査
2. 対応可能な製作者・納入者調査(『改善は日本品に拘らず』から開始)
3. 調査対象会社への訪問と討議開始

Step-2 対応調査・見積

1. 対象会社の意志確認と見積依頼(場合によっては、サンプル納入)
2. BHI・AKSOによる検査・・・通過企業には、NDAを含め契約協議開始
3. 価格レベル調査・・・単純比較ではなく、付加価値考慮の価格調査

Step-3 導入試験

1. トライアル納入・・・価格、納期、品質、提案力の確認
2. 上記にてQualified会社・・・BH、ASにて研修(Training)受講
3. 研修終了会社(人)に対してのCertificate(認定書)

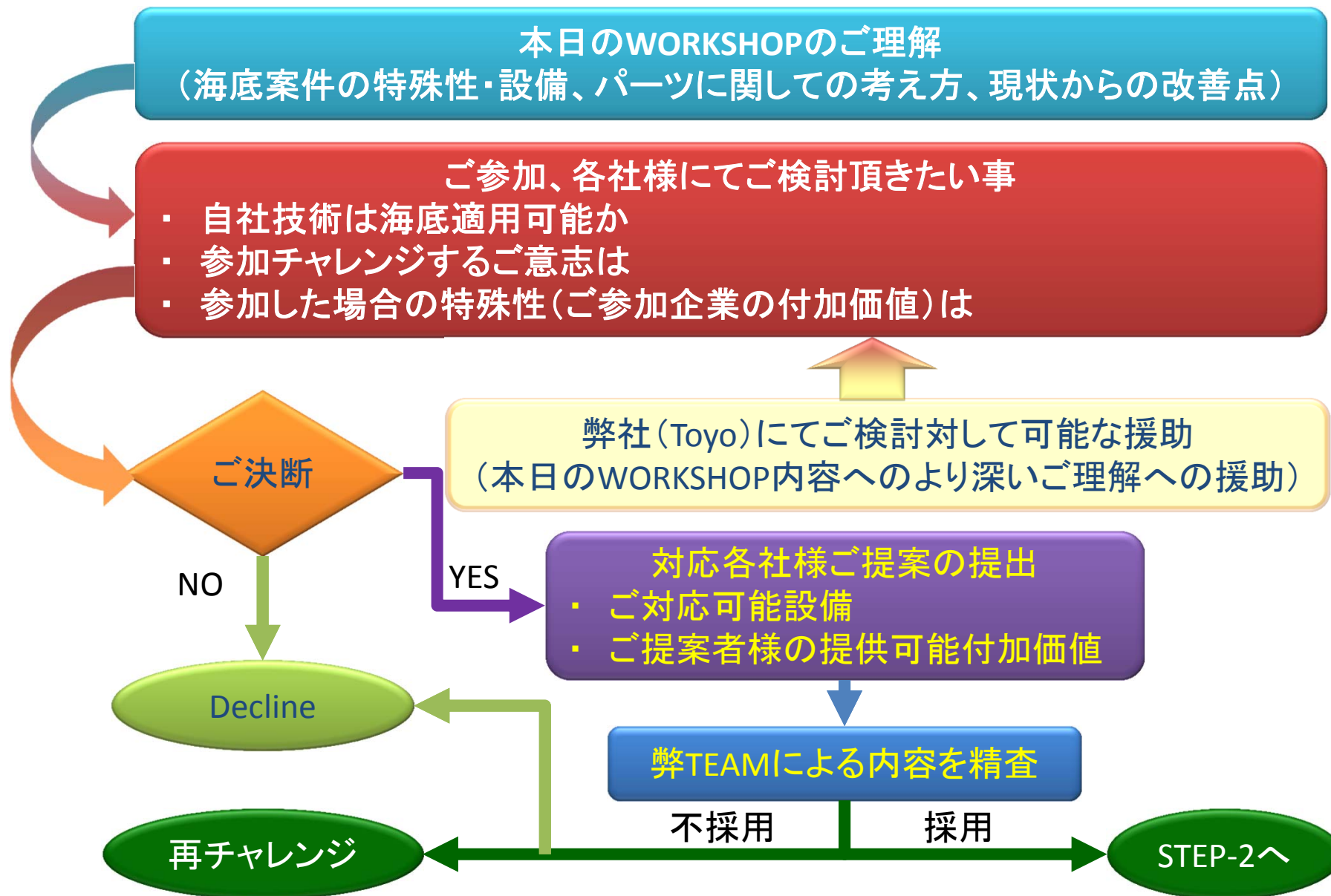
Step-4 本格導入

1. 新規案件からの参加・・・設計段階からの参加し使用条件を確認
2. 製作・納品元へのBHI・AKSO技術者の常駐・・・工夫の供給化

Step-5 安定的関係

1. 機器・部品: 長期納入契約へ
2. 設備製作: 指定工場化(Area対応、事業別対応、資金別対応等)

Made in Japanを目指して = ご参加企業各社にお願いしたき事 =



お問い合わせ先

東洋エンジニアリング株式会社

資源エネルギー事業本部

資源ビジネス本部長

飯泉正蔵

資源ビジネス本部・海洋関連担当

シニアビジネスディベロップメントマネージャー

東野 慎 E-mail: makoto.tono@toyo-eng.com

ファシリティエンジニア

河口恭二郎 E-mail: kyojiro.kawaguchi@toyo-eng.com

住所 〒275-0024 千葉県習志野市茜浜2-8-1

TEL 047-454-1906